

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成26年5月号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15
一般社団法人 日本病院会 通信教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

診療情報管理士の資格を取得して

中村 博彦

中村記念病院理事長・院長
北海道会場 基礎課程(医療概論)講師

私は三年前に診療情報管理士の資格を取りました。医師で資格を取得している方は今年度の認定試験までで398名(1.4%)とまだまだ少数です。私が認定試験を受けようと決意したのは、北海道診療情報管理研究会の会長になることが決まったからです。会長になって診療情報管理士の方々に偉そうなことを言うには、自分がコーディングの仕組みくらい知らないわけにはいかないだろうと思ったのです。

実際に通信教育を受けてみると、私のような立場の人間はかなり有利です。基礎課程は免除されていますし、日本の医療保険制度の仕組みは熟知しています。疾病についても基礎知識はありますから、コーディングを少しマスターすれば試験には合格します。病院の事務職の方々や、ましてや学生さんは本当に一生懸命勉強して資格を得たのだと感心した次第です。

診療情報管理とお付き合いして、私自身が随分変わりました。私は事務作業が早いとは言えない人間で、以前は忙しいことを理由に手術記載や退院サマリーを溜め込んでいました。その私が、今では退院サマリーは二週間以内を書くようにとか、手術記載が遅いと注意したりするのですから、自分自身の変わりように私が一番びっくりしてしまいます。診療情報管理の普及は、私のような旧態依然とした医師の心根を変えるのですから、日本の特に急性期医療の近代化に大きく貢献していると思います。

私が診療情報管理士の資格を取得したのに影響されて、北海道では何人かの医師が診療情報管理士になりました。新しい世界に出会えたので、どなたも資格を得て嬉しそうです。多くの医師が認定試験を受ける必要はないと思いますが、急性期の病院経営に参画する医師は受験して資格を得ても損はないと思います。現在の私は、院内では診療情報管理士を支援する立場で動いていますが、対外的にも診療情報管理の重要性を訴える立場にいますが、診療情報管理は病院の職員を管理するために使うのではなく、職員がツールとして使いこなすものだと思います。それを、専門的知識として絶えず up-to-date に更新する専門職が診療情報管理士という職種だと考えています。

診療情報管理士の資格が、早く放射線技師や臨床検査技師のような国家資格になり、私のような医師が研究会の会長を務めなくても良いような時代が到来することを期待しています。

